

3 努力目標及び具体的実践内容例

努力目標		具体的実践内容例	評価	
			I	II
確かな学力の育成	①「わかる授業」の実践	・研究を核として、学ぶ楽しさを実感できる授業の充実を図る。		
	②検証改善サイクルの確実な実施	・各種学力調査等の結果分析に基づいた、きめ細やかな取組を実施する。(個人カルテ、学力充実タイム)		
	③主体的に考え、学び合う態度の育成	・自分の考えを持つ場の設定と意見交流を通して、自分の考えを深めていく取組を行う。		
	④家庭学習の定着	・和水町学習の手引きを活用し、家庭学習の習慣化を図る		
	⑤読書活動の推進	・読書のめあてを持たせ、本にふれる時間と場を確保する。(読書カード、読み聞かせ)		
	⑥基礎学力の確実な定着	・基礎的・基本的内容の確実な定着を図るため、漢字計算大会を効果的に活用する。		
	⑦一人一人の教育的ニーズを踏まえた指導の充実	・ユニバーサルデザインの視点に基づいた授業の構成、板書や教材、発問の仕方など工夫する。		
豊かな心の育成	①「道徳」の時間の充実	・児童の道徳的価値の自覚を深めるよう、資料提示や考えを交流する場を工夫する。		
	②「能本の心」や「つなぐ」等の効果的な活用	・授業の公開や地域の人々の参加・協力等、家庭や地域との連携をする。		
	③自他を大切にする学校・学級づくりの推進	・支持的風土を醸成し、出番と居場所のある学級づくりをする。		
	④いじめ、不登校、問題行動等の未然防止	・いじめ防止基本方針に基づいた組織的な対応をする。		
	⑤地域人材との連携協力	・栽培活動や体験活動を通して、地域の人、もの、ことへのすばらしさにふれる場を設定する。		
	⑥教育相談活動の充実	・児童とふれあう時間の確保と生活アンケートを活用し児童のわずかな変化にも対応する。		
健やかな体づくり	①教科体育の充実	・体育の時間の運動量を確保し、運動の楽しさを感じさせる学習をする。		
	②危険予測能力の育成	・学校安全指導の手引きを活用し、危険予測能力の育成をする。		
	③自ら健康の保持、増進を図る取組の充実	・自分の体や生活の仕方について関心を持たせ、健康で安全な生活ができるようにする。		
	④「食」に関する知識や実践的な態度の育成	・給食指導や栽培活動を通して、食に対する関心を高めるようにする。		
地域とともにある学校づくり	①熊本版CSの推進	・地域人材を活用した体験活動を通して、熊本版コミュニティ・スクールの推進をする。		
	②学校評価の充実と活用	・学校評価の結果を謙虚に受け止め、改善していく。		
	③校務改革による学校のスリム化	・日課の見直しや校務の精選により、定時退勤推進日を確実に実施する。		
	④環境にやさしい学校づくりの推進	・児童が主体的に行う学校版ISOを実施する。		
	⑤適正な言語環境づくり	・教師と児童、児童同士の言葉づかいを大切にし、認め合い、気持ちよく生活できる環境をつくる。		
	⑥学びの連続性を踏まえた教育活動の推進	・小中統一の学習規律・自ら学ぶ学習スタイルの定着を図る。		
	⑦不祥事防止に向けた取組の充実	・不祥事根絶を目指し、保護者や地域の願いに応えるようにする。		